

第2回 江別市立病院経営評価委員会 議事録

○日時

令和2年11月11日（水）18:30～20:15

○場所

江別市立病院 2階 講義室

○委員

出席：西澤寛俊委員長、石井吉春副委員長、笹浪哲雄委員、樋口春美委員、水野克也委員、
後藤則史委員、高田明委員
欠席：寶金清博委員、森昭久委員

○その他出席者

江別市：野口貴行総務部財務室長、佐藤貴史健康福祉部長
市立病院：富山光広院長、黒木純子看護部長、渡部丈司経営推進監、白石陽一郎事務長、
小椋公司事務局次長、加茂順一経営改善担当参事、佐野之範管理課長、
稲田征己医事課長

○傍聴者（別室で動画中継視聴）

5名

○次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 報告事項
 - ①病院事業経営状況について
 - ②「ロードマップ」の進捗状況について
 - (2) 協議事項
 - ①江別市立病院経営再建計画（素案）について
 - (3) その他
3. 閉会

【議事録】

西澤委員長	——— 議事（１）報告事項 ① ——— 報告事項の①病院事業経営状況について、説明願います。
医事課長	(資料１ P 1 「診療収益の状況」説明) (資料１ P 2 「病院事業経営状況調」説明) (資料１ P 3 「入院実績と計画」説明) (資料１ P 4 「外来実績と計画」説明)
西澤委員長	残念ながら計画通りには進んでいないとのことですが、新型コロナウイルス感染症の影響を加味して評価しなければならないと思います。 感覚的にでも結構ですので、新型コロナの影響をどの程度と考えていますか。
医事課長	現場から聞いている状況を元に報告させていただきますと、特に外来が大きく影響を受けています。4月下旬～5月下旬にかけて緊急事態宣言があり、健診関係において保険者側に実施を控える動きがあったため、1ヶ月間まるまる健診収益が激減しております。また、小児科においてはお子さんたちの接触機会が減り、マスク・手指消毒等衛生環境が向上したこともあり、感染症発生が大幅に落ちております。毎月の保健所からの感染症報告においても、例年夏場に発生する手足口病が全くなかった状況です。上半期実績における外来収益は計画比約20%の減ですが、うち少なくとも15%程度は新型コロナの影響ではないかと考えております。 一方、入院は昨年度よりも患者数が増えております。手術や分娩などで新型コロナの影響は確実に受けているものの、健闘していると考えており、入院収益では10%程度は新型コロナの影響ではないかと考えております。
西澤委員長	各病院団体でも新型コロナの影響を分析しており、日本全国で4月～6月は10%～20%収益減があるようです。その後回復してきておりますが、それでも10%程度の減で推移している状況です。
水野委員	民間病院の状況を聞いているので、参考に発言させていただきますと、しっかり経営されている病院は8月くらいから対前年を上回る動きをしております。資料1のP1を見ていただくと、江別市立病院においても8月に前年同月と同程度まで回復し、9月には前年を上回っており、10月も前年を上回る見込みとのことですので、新型コロナの影響下にありながらも、大変努力されていることが数値からも読み取れると思いま

<p>西澤委員長 委員</p>	<p>す。</p> <p>他に質疑ありますか。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>—— 議事 (1) 報告事項 ② ——</p> <p>次に、報告事項の②「ロードマップ」の進捗状況について、説明願います。</p>
<p>参事</p>	<p>(資料1 P5～9「ロードマップ【進捗管理表】」説明)</p>
<p>石井副委員長</p>	<p>P7「③医師招聘に向けた体制の強化」について、専任部門の設置など実際に実行されていて自己評価として○をつけていると思います。気をつけていただきたいのは、体制強化が進んでいても、実態として医師招聘の可能性が高まるなり、医師確保が実現しなければミスリードに繋がる可能性があると思います。特にこの項目はハードルが並外れて高いため、努力されていることは重々承知の上ですが、単に○がついているだけだと、評価側としても大丈夫と判断してしまいますので、わかりやすくかつ慎重に評価すべき項目かなと思うので、よろしく願います。</p>
<p>参事</p>	<p>石井副委員長のご指摘のとおり、専任部門の設置に関しては○評価ですが、実際の招聘に繋がるという意味では困難性のハードルが高い項目ですので、自己評価や取組状況のコメント内容などについて、改善したいと思います。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>P8「⑤看護体制の抜本的見直し」について、2交代制の全面実施が◎とのことですが、これによる経営への効果がわかれば教えていただきたいです。一部、現場が混乱して大変だという声も聞いており、労働条件や職員のモチベーションなどいろいろ考えたときに、経営再建に必要な手段としては理解しているのですが、具体的な効果が示されると現場の納得感も得られるのかなと思います。</p>
<p>西澤委員長</p>	<p>実施からまだ1ヵ月程度ですので、今の段階において2交代制導入による良い効果、解決すべき課題などあれば、看護部長から願います。</p>
<p>看護部長</p>	<p>11月までに、6病棟のうち4病棟において運用開始しました。16時間の夜勤ということで、仮眠室を設置するなど環境整備の実施や、夜間業務の改善を部署ごとに検討してもらい、聞き取りに入りながら調整</p>

	<p>しています。</p> <p>当院は3交代経験者が多いので、長時間労働による疲弊感のような感想も聞いていますが、夜勤後に休暇がとれるので疲労が回復されるという声も聞いており、メリット・デメリットがありながら1ヵ月経過したところ です。</p> <p>すでに運用開始した4病棟は夜間の臨時入院があまりないですが、残り2病棟は夜間の入院がありますので業務調整しながら導入時期を検討中 です。</p>
参事	<p>2交代制による改善効果を金額で示すことは難しいところですが、一般的には夜間の交代がなくなりますので、タクシーチケットの使用が減ることによる経費削減は見込めると思います。</p> <p>それ以上に大きい効果として感じているのは、2交代制導入について現場説明させていただいた際にも、新しい取組に対して不安な気持ちを持っている一方で、業務の効率化を自分たちで考えたり、多職種連携によるタスクシフトが進むなど、チーム医療の推進に係る効果が見え始めており、これは経営再建にとって最低条件であると考えています。2交代制導入による病院全体でのチーム医療の推進にあたっては、これらの効果は、経営再建につながる大きな一歩と考えています。</p>
西澤委員長	<p>まだ一ヶ月しか経過していませんので、現場が混乱しているというのはむしろ当たり前のことだと思います。2交代制に移行してすぐに良い効果が分かりやすく出てくるということではなく、それぞれの病院が患者層や環境に合わせて時間をかけて工夫しながら調整しています。</p> <p>2交代制の目的は決して金銭的な面だけでなく、1勤務あたりの時間が長い一方で、働き方は楽になったという意見が全国的にも多いため、進められています。非常に大きな改革であり、現場にとっては大変なことと思いますが、改革というのはエネルギーを使いますし、必ず反対の声が挙がるものです。看護部長さんは大変に苦労されていると思いますが、他の病院同様にやって良かったという声が聞けるよう、2交代制移行後も引き続き工夫を重ね、職員と協力し合いながら頑張っていただきたいと思っています。</p>
西澤委員長	<p>前回、委員会から取組項目を○△×で自己評価してはと提案したものの、取組項目は多岐に渡りますし、定性的評価、定量的評価が入り混じっていますので、分離するなど工夫を検討いただければと思います。</p>
石井副委員長	<p>すべての項目を無理に評価しようとせず、記号評価が難しい項目は空欄でもいいかもしれません。その分コメントを充実させていただき、委員会で議論できれば良いのではないのでしょうか。</p>

後藤委員	<p>前回委員会では、進んでいるのかどうかわかりにくいので自己評価を追加していただいたと思います。ただ、記載項目を実施することが目的になってしまわないよう、再建に結びつく効果が伴っているかどうかの評価を出来る仕組みになれば良いなと思うのですが。</p>
西澤委員長	<p>定量的な評価は明確にしやすいですが、定性的・構造的な取組みに関する評価は、先ほど申し上げたように事務局側に工夫いただきたいと思っています。</p>
石井副委員長	<p>後藤委員のおっしゃる主旨は理解できますし重要と思いますが、委員会からの答申内容を元にロードマップ化しており、経営再建に必要であるという議論を経て示された手段を明記して、ひとつひとつ実行してくださいとしています。これは手段であって目的化してはいけないという言い方は、本委員会においてもしないほうが良いのではないかと思います。</p> <p>まず書かれている手段をとにかく実施してもらい、そのやり方や程度などについて、実際に現れた効果などによって評価するべきと思います。</p> <p>実施することに力点をおいていただいて、進めることを躊躇させるべきでは無いのではと思います。</p>
西澤委員長	<p>例えば、P6「④診療科の方向性」において、精神科の縮小と記載しています。記載されている内容を見ますと、病床を縮小したから◎評価しているわけでは無いと思いますので、説明願います。</p>
参事	<p>評価の内容についてご議論があることを前提の上で、自己評価を◎とさせていただきます。病床数を縮小したほか、精神デイケアには使用面積を狭くすることでより効率的に実施するという方向性に転換いただき、精神デイケアで使用していた作業療法室3を、健診センターに転用することで病院全体に対し貢献いただきました。</p> <p>また医療の質の向上としては、市内で唯一、核医学診断装置を所有しているという当院の強みを活かした「もの忘れ外来」を開設し、市民のニーズが高い認知症の診断を開始しています。これは多職種連携により進められており、精神科の医師を中心に「あり方委員会」からの答申を真摯に受け止め、市民のために貢献すべく医療の質を高める取り組みとして実施したもので、実際に収益も非常に伸びている状況であり、◎の自己評価としております。</p>
西澤委員長	<p>単に病床数を縮小したことによる評価では無いということです。他に質疑ありますか。</p>

委員	(質疑なし)
西澤委員長	<p>—— 議事(2) 協議事項 ——</p> <p>次に、協議事項 江別市立病院経営再建計画(素案)について、説明願います。</p>
参事	(資料2 「江別市立病院経営再建計画(素案)」説明)
水野委員	<p>まとめるのが非常に大変だったと思います。それを前提とした上で、全体としてももう少し具体的に記載した方がよいかと思います。あり方委員会からの答申に対し、あまり踏み込んだ記述にはなっていないなという印象です。</p> <p>もちろんイコールではないですが、民間企業の経営再建計画では、例えば社長の役員報酬を何百万減らしますとか、交際費何万円をゼロにしますなど、かなり踏み込んだ内容を記載することが多いです。市民も具体的な記述を期待されているのではないかと思います。特にⅢとⅣでは数値が肝になってくるとと思いますので、具体的に記述したほうがよいと考えます。Ⅵも答申の記述からあまり進んでいないように感じました。</p> <p>また、P26の収支計画で令和2年度の決算見込みとして50.1億円は達成が難しいのではないのでしょうか。達成可能な見込みと、それを踏まえた達成する覚悟を持った計画にすべきではないかと思いました。</p>
参事	<p>あり方委員会からの答申が、かなり具体的に踏み込んでいただいた内容となっており、その内容を着実に進めるという考え方で作成させていただきましたので、感染症対策など答申の時点では具体的でなかった部分の追加はさせていただいておりますが、その他の項目については答申内容に改めて追加はしておりません。</p> <p>令和2年度の決算見込みについては、現状の新型コロナウイルス感染症の影響を受けた上半期実績を元に下方修正した数字であり、現実的なものと考えております。</p>
西澤委員長	後半は良くなってくる兆しが見えますが、今後の感染症状況は分からないため、前半の落ち込みがある程度継続する想定収益見込みということですが、水野委員いかがでしょうか。
水野委員	資料1のP1では4月から9月までで21億円、これが医業収益となると、50億円は到達できるのでしょうか。
参事	資料1のP1の数字は、入院収益と外来収益を足した診療収益の推移

	<p>であり、資料2のP26にある令和2年度決算見込みで言いますと、43.6億円が見込んでいる数字となります。50.1億円との差6.5億円については、その他医業収益等の金額となります。</p> <p>資料が分かりにくく申し訳ありません。</p>
水野委員	<p>その他医業収益6.5億円はどのような内容でしょうか。</p>
医事課長	<p>感染症対策に係る一般会計からの繰入金や、国の補助金の収入が該当し、令和元年度と比較すると約2億円程度増額しているため、医業収益も多く見えてしまうかもしれません。</p>
西澤委員長	<p>私の病院もそうですが、国が医療機関に対して感染症対策に関する補助金をかなり増やしておりますので、その部分ということです。</p> <p>これは非常に重要な視点だと思います。なぜ例年に比べて多いのか、委員の皆さんも内容が分かればなるほどと納得できると思います。</p>
水野委員	<p>理解しました。そういうことであれば、しっかり吟味された数字であると思います。</p>
石井副委員長	<p>民間企業であれば再建・再生収支計画というのはもっと具体的で緻密であるとは思いますが。ただ、今回の収支計画では色々な要素が含まれているために数字の意味が客観的に理解しにくくなっているのだと思います。</p> <p>難しいのは承知していますが、令和2年度については、新型コロナ関連の影響数値と、本来こうであったという決算見込みを別に考えたほうが良いと思います。新型コロナの影響は令和3年度も引きずると思いますので、要素を分けた数字がないと、不可抗力で悪化した数字と努力して向上した数字を評価しにくいのだと思います。</p> <p>水野委員がおっしゃっているのは、収支に効いてくる主要な数字が3年後にどの程度の成果を見込んだのか、幅が多少あってもいいので、何をやってどれくらい収支を改善するのだということを示さないと、具体的な再建計画にならないということだと思います。医師の招聘についても、例えば2人から3人という幅をもったとしても、その人数を確保できた場合の収益増は示すことができますし、何をやってどう収支改善の成果を出したのか、あとから評価できるような計画にしていきたいと思います。もちろん数値を示すことが出来ない項目も当然あるので、全てを無理に示せということではありません。</p> <p>収支改善に繋がる主要な施策について、整合性や正確さを確保するよりも、多少幅がある前提で改善効果の数値を示していただいたほうが、行動ベースの計画においては分かりやすいと思いますし、やることのタ</p>

<p>西澤委員長</p>	<p>ーゲットも分かりやすくなりますので、ご検討いただきたいと思います。</p> <p>他に質疑ありますか。</p> <p>全体としてでも結構ですので、各委員から意見を頂きたいと思います。</p>
<p>樋口委員</p>	<p>本日の資料を事前にいただき目を通してきました。前回よりも病院全体が動き出しているという印象を強く感じました。皆さん努力されていると思います。あとは評価という視点を持つことが重要ですので、内部における評価の仕組みが進むとより良いなと思います。</p> <p>看護師の立場から2交代制について発言させていただくと、経済的な効果はあとから確実にわかると思いますし、看護師が働く視点で重要なことは、時間がまとまってくるということです。自分が若いころは、準夜→準夜→深夜→深夜という働き方で、1週間びっしり夜勤で拘束時間がものすごく長くなることもありましたが、2交代制になることで2日間しっかり働き、そのあと2日間休めるということは、看護師自身の生活の質も良くなることが経験知として分かっています。</p> <p>また看護の視点、患者さんへのサービスの視点でみれば、引継ぎ回数が減って患者さんに対応できる時間が増えますし、業務効率も向上します。2交代制の導入を評価する際は、メリット・デメリット必ずありますので、そういうことをしっかり文章化し整理しておくことで、より良くなるかなと思いました。</p>
<p>笹浪委員</p>	<p>江別医師会としましては、感染症対応に尽力いただいております。ありがとうございます。</p>
<p>高田委員</p>	<p>前回は申し上げましたが、資料の説明については、もっと省略いただいて構わないと思います。委員は事前に送付いただいておりますので、強調したいところだけでよいと思います。</p> <p>次に、評価の前段階として点検について物足りなさを感じています。個人的に知りたいことがたくさんあり、委員会で事細かに聞いてしまうと時間がいくらあっても足りないので、評価のための委員会開催の前に、委員の数名でもいいので事前に点検できる仕組みが欲しいと思っています。</p> <p>例えば、最重要の医師招聘について、頑張っているのは重々承知していますが、どう頑張ったのか、いつ誰と会って相手の反応はどうだったのか、機密事項に触れる部分があると思いますので、公開の委員会では発言できないでしょうから、事前に点検をさせて欲しいです。疑っているということではなく、責任をもって評価するために必要な点検であると思っています。また労務管理はどうなっているか、市民への情報開示はどうなっているか、一般会計からの繰出し項目の内容は、など例を挙げ</p>

<p>後藤委員</p>	<p>るときりがないですが、そういったことも知りたいと思っています。</p> <p>最後に、後藤委員からも発言があったように、あり方委員会からの答申に書いてあることは全て是として進められては困ると思います。現場で働いている看護師や医師との面談も場合によっては必要ではないだろうかと考えています。そういう手順を踏む必要があるのではないかと考えています。</p> <p>例えば、医師招聘の体制強化や、派遣要請をするという項目の評価として、実行していること自体が〇なのは分かるのですが、医師の確保に至るまでの進捗状況が具体的にどこまで進んでいるのかが分からないので、委員としてもどう評価するべきなのかと考えています。</p> <p>委員として責任ある立場だと思っていて、いろいろと理解した上で、計画通り再建に向かっていることを見守っていきたいと思っていますので、高田委員がおっしゃったようなことも検討いただきたいなと思います。</p>
<p>水野委員</p>	<p>高田委員の発言で身が引き締まる思いです。委員としての積極的な参画というのは、江別市にとっても我々にとっても良い緊張感のある関係になるかなと思います。</p> <p>ただ、総論として申し上げたいのは、数字を見てもこの環境下において市立病院が院長以下みなさん相当苦労されていることが伝わってきますし、私が取引させていただいている市内の開業医のみなさんから、市立病院には大変お世話になっているという話を伺っています。</p> <p>先ほどの収支計画でもそうですが、しっかり吟味された数字を元に計画を作成されていて努力されていると思います。</p>
<p>石井副委員長</p>	<p>この委員会の使命を考えると、高田委員のご意見は理想形であるとは思いますが、みなさん本業がある中での委員会開催であることを考えると、委員会開催頻度を増やすことはできたとしても、その中で出来ることというのは、率直に言うとも限界があると思います。</p> <p>私自身も民間企業の監査役をやっていますが、監査手続きはチームでトータルの役割を果たすことが多いです。数字の積み上げは、職業的に数字のハンドリングに慣れている方に時間をかけてみていただき、結果としてのパフォーマンスやリスクを評価しています。本委員会においては、我々の意図する効果が上がっているかという評価に絞ったとしても、すべての数字を追いかけて確認することは難しいと思います。やるなら外部委託等も検討しなければ実効性がないと思います。委員会で出来る範囲においてどう確認するかというスタンスで、検証していくというやり方もあるかと思っています。大枠で再建が正しい方向に進んでいるか、達成にむけて進捗しているかどうか、大括りの数字を押さえて読み込んで</p>

議論すべきかと思います。どういう数字を用いて議論するかは事務局に検討いただくとして、妥協になるかもしれませんが、細かく入り込めば入り込むほど、全体の再建・再生の進捗と遠くなることもありえます。進捗をきちんと管理して評価していく指標は、それ程多くは必要ないはずで、4つ～5つ程度を、先ほど幅があってもいいので効果額を出して欲しいと申し上げたのは、管理評価していくために重要となる数字に対しての要望です。セグメントのように分けていただいて具体的議論ができるような数字の出し方をお願いします。細かい数字まで委員会で議論する必要はないとしても、重要な数字は押さえて議論をしていかないとあつという間に3年過ぎてしまうことになりえます。それだけは何としても避けるような手順を、委員会としてもやっていく必要あると考えますので、そのあたり委員長と相談しながら整理いただきたいと思います。

高田委員

委員会開催頻度や時間が限られていて難しいことはわかりました。代替提案として、各委員が知りたいことを委員会開催の1ヵ月前程度に事務局に提出し、委員会開催の際に回答を見せていただくというのはいかがでしょうか。

経営推進監

話題を戻すようで申し訳ありませんが、先ほどの医師招聘の話について若干説明させていただきます。医師招聘については非常に難しい課題です。どんなに顔が広い方でも、10回連絡して1回会っていただけかどうかという難しさを感じています。この背景にあるのは全道的な医師不足であり、各大学医局は関連病院への医師派遣を維持することにも苦勞している状況であります。新たに派遣を受けるには環境整備が必要で、江別市立病院の評判も含めて色々理解いただきながら進める必要があると考えております。相手があることなので交渉の中には機密事項も多分に含まれるため、いつ、どこで、誰と、というような活動の細かい情報の開示については、ご容赦いただきたいと思います。断られたからといって協力的ではなかったということでは決してなく、タイミング等もあるので継続的に粘り強く進めて参りたいと考えております。

とはいえ結果が必要ですので、再建計画案のP21に内科系医師数の目標が掲げられており、これを達成するため日々努力しているところであり、院長、市長にもご同行いただき、各大学医局、道内の病院を訪問させていただき派遣依頼を続けていますので、ご理解いただきたくお願いいたします。

再建計画案では、収支計画の数字を達成するために必要な目標値を定めており、中でも重要な指標は1日当たりの入院患者数・外来患者数を確保することにあります。これらを確保するための各部署における取り組みの努力というのは、資料1のロードマップ進捗管理表で報告したいと考えておりますので、再建計画案についてそのようにご理解いただき

	<p>たいと思います。今後、市民意見の公募や議会説明を通して市民と共有し、意見を頂きながら分かりやすくなるよう進めて参りたいと考えております。</p>
石井副委員長	<p>記載されている数字だけでは、委員会として点検評価することが難しいと申し上げています。全て開示してくださいということではありません。医師招聘についても、守秘義務となる範囲があることは理解していますが、なにもかも秘密となると検証のしようが無いので、どこまで提示できるかを先ほど申し上げたように、委員長と相談いただきながら検討して欲しいと思います。そこは誤解の無いようしっかり検討いただきたいと思います。</p>
経営推進監	<p>わかりました。医師招聘については、先方にご迷惑のかからない範囲、例えば訪問回数などでお示しできないか検討させていただきます。</p>
西澤委員長	<p>私も医師ですので、市立病院が医師招聘に大変苦勞されているとともに相当努力されていることが分かります。一方で、委員会としてはある程度の情報が無いと点検評価することが難しいことも確かです。委員の皆さんは真剣に市立病院の再建を願っており、しっかり点検したいという思いからくるご意見であると思います。市立病院を再建したいという思いは、委員も事務局も同じと思います。</p> <p>また、高田委員のご意見にあった、3か月に1回の開催では情報共有も含めて十分な議論が難しいということも、その通りかと思えます。</p> <p>私は「勉強会」という言葉を使いたいと思いますが、委員側で知識を持つための時間を設けられないか、委員は病院側と対立する関係では決してないので、お互い理解しあえるプロセスをとりたいと考えています。</p> <p>前回のあり方委員会でも、市立病院を何とかしたいという思いで委員からどんどん意見が出て、事務局側もそれにしっかり応えてくれたことで、かなり具体的な答申書が完成しました。</p> <p>我々が点検できる範囲には限界がありますし、市立病院は議会説明や監査対応もあるので、そういったところまで委員会がカバーする必要はないかもしれません。</p> <p>例えば、収支計画などの数字は、水野委員には解っても、他の委員は正直すぐには理解できないので、事務局に解説いただくなどする機会があればと思います。場合によっては水野委員にも解説いただくとより良いのではないのでしょうか。</p> <p>医師招聘についても、先ほど事務局から苦勞しているという話をしました。私もその10倍は苦勞してきたと思っておりますので、医師招聘の大変さについてはいくらでもお話できます。</p> <p>そういった勉強会を、一度試みてはどうかと思います。勉強会の内容</p>

委員	<p>等については、私と事務局で調整したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
西澤委員長	<p>ありがとうございます。こういった議論ができることも、この委員会が形だけのものではない証拠だと思います。</p> <p>先ほど樋口委員からお話しいただいた看護の2交代制についても、メリット・デメリットあり、働いている職員にとっても大事なことです。やはり患者さんにとって何が良いかという視点が最重要だと思います。</p> <p>笹浪委員からお話しいただいた感染症対応について、これから地域医療を守っていく観点では医療機関同士が協力し合えることは非常に重要であり、市立病院が医師会から評価されるということは、喜ばしいことだと思います。</p> <p>総論になりますが、前身のあり方委員会ときは市立病院の行く先に不安を覚える場面もありました。しかしながら、前回に続き、今回の評価委員会では、数字の動き、取り組み内容から、市立病院が再建に向けて動き出したと感じており、市立病院の職員の皆さんのエネルギーを感じております。</p>
水野委員	<p>高田委員からご意見があった、各委員が知りたいことを委員会開催の前に提出するという件については、次回に向けてどうしますか。</p>
西澤委員長	<p>勉強会の件も含めて、私と事務局で調整させていただきたいと思いません。</p>
参事	<p>委員会の運営方法は、点検評価の実効性が得られるよう、高田委員のご意見も踏まえながら委員長と相談させていただきたいと思えます。</p> <p>再建計画案についてですが、上半期の状況を元にした決算見込みをベースにしており、現時点での見通しとして作成しております。今後、予算編成過程において細かい数字は変わる可能性があります。本素案をもとに、市民意見の公募などを進めさせていただき、予算編成で精査した上で、委員会にもお示ししたいと考えております。</p>
西澤委員長	<p>高田委員も、そのような進め方でよろしいですか。</p>
高田委員	<p>わかりました。誤解しないで頂きたいのは、市立病院は何をやっているのかという不信的な意味では決してありません。委員会として、能動的に点検をして適切な評価をしていきたいということです。</p>
西澤委員長	<p>他に意見ありますか。</p>

委員	(意見なし)
西澤委員長	<p style="text-align: center;">—— 議事(3) その他 ——</p> <p>次に、その他について各委員から何かありますか。</p>
委員	(意見なし)
西澤委員長	事務局から何かありますか。
参事	<p>次回の日程について、本日皆さまにお配りした日程表に基づき調整し、確定次第ご連絡させていただきます。勉強会等の日程については、委員長と調整させていただきます次第、別途ご連絡させていただきます。</p>
西澤委員長	<p style="text-align: center;">—— 閉会 ——</p> <p>以上をもちまして第2回「江別市立病院経営評価委員会」を終了します。</p> <p>20:15 閉会</p>